



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和62年1月1日現在)

人口	21,690	(+44)
男	10,631	(+20)
女	11,059	(+24)
世帯数	6,684	(+15)
一人のうごき (12月中)		
転入	86人	転出 55人
出生	26人	死亡 13人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



1億円馬・キンタロー号が幕別に

獲得賞金1億円というばんえい競馬史上初の金字塔を打ち立て、引退したキンタロー号(ペルシュロン系種、雄、10歳)が村田義雄さん(糠内・47歳)に種牡馬として購入されました。12月26日には糠内コミセンで、安着祝い、が行われ、かつての馬産王国幕別の復興が関係者の間で期待されています。

特集 本年度の町づくりはこう進んだか……①

生活環境の整備

「住みよい町づくり」を目標に、本年度の予算は四本の柱で構成されています。①生活環境の整備 ②福祉と健康の充実 ③教育施設の整備 ④産業の振興。

広報四月号では、これら町づくりの具体的な計画をお知らせしましたが、実際にどう進んだのか今月号から二回に分けて特集します。

本年度に実施された主な事業は表のとおりです。

内三十五カ所目の公園になりました。

町内35番目の 緑町・緑央公園

緑豊かな自然環境の中で、軽スポーツに親しみ、安らぎと潤いをもたらしたいの場となる公園の整備を進めました。本年度は緑町に緑央公園が造成され、町

昭和五十八年に宅地造成した緑町に、子どもたちが気軽に遊べる公園として緑央公園を造成しました。広さは一千八百平方メートルで木製遊具が配置されています。

公園

幕別札内線の 舗装工事が完了

町内を網の目のように走る道路は、私たちの生活を支える大切なものです。本年度も生産基盤となる幹線や市街地道路の改良、舗装など町道の整備を重点に事業を進めました。

道路

新規事業として千住三線ほか四本、継続事業は札内高台線ほか九本の改良、舗装工事を行いました。

●本年度行われた主な町道・街路整備事業

事業名および総体計画	事業期間	事業内容
明野25号線道路改良工事 L=850m W=5.5m	年度 61~63	改・L=60m
千住3線舗装工事 L=1,460m W=5.5m	61~65	舗・L=370m
幌内沢線道路改良舗装工事 L=550m W=5.5m	61	改・舗・L=498m
南町団地道路6号改良舗装工事 L=119m W=10m	61	改・舗・L=119m
若草町団地道路6号改良舗装工事 L=272m W=8m	61	改・舗・L=272m
あかしゃ団地道路1号改良舗装工事 L=242m W=10m	61	改・舗・L=242m

(継続事業)

事業名および総体計画	事業期間	事業内容	進捗(62.3)	
			長さ	割合
札内高台線改良工事 L=3,670m W=5.5m	年度 56~64	改・L=245m	725	19.7
軍岡大豊線改良工事 L=6,507m W=5.5m	54~67	改・L=450m	1,886	29.0
千住3線改良工事 L=1,460m W=5.5m	59~64	改・L=183m	375	25.7
幕別札内線舗装工事 L=3,583m W=5.5m	55~61	舗・L=730m	3,583	100
軍岡大豊線舗装工事 L=6,500m W=5.5m	53~68	舗・L=490m	3,480	53.5
曙通街路整備事業 L=940m W=18m	57~61	改・舗・L=150m	940	100
札生通り改良舗装工事 L=1,800m W=7.5m	57~61	改・L=300m 舗・L=800m	改=1,800m 舗=1,800m	100 100
相川6線舗装工事 L=1,243m W=5.5m	60~63	舗・L=211m	405	32.6
札内西和線舗装工事 L=1,540m W=5.5m	60~61	舗・L=850m	1,540	100
途別日新線舗装工事 L=815m W=5.5m	60~61	舗・L=414m	815	100

(注：L=道路の長さ、W=道路の幅)

▼明野ヶ丘公園整備事業(継続)

総合公園として、昭和五十三年から整備を進めています。本年度は園路(百六十メートル)の整備と駐車場(二千五百平方メートル)の路盤改良を行いました。既にこの公園には幕別市街が一望にできる展望広場、自然の中で体力づくりができるミニアスレチック、サイクルサーキットコースなどが設けられています。

また、毎年町民の手で芝桜の植栽が行われ、手づくりによる公園のシンボル作りが進んでいます。

▼止若公園整備事業(継続)

猿別川河川敷を利用し、レクリエーション、軽スポーツを楽しむ公園として、五十五年度から整備を進めています。本年度は、トイレ(二棟)の設置とジョギングコース(三百九十メートル)の整備を行いました。

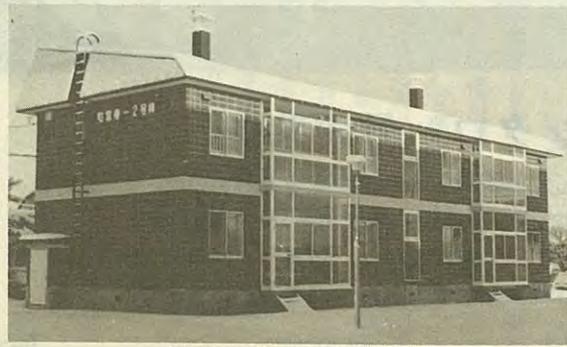
寿町に町営住宅 2棟12戸建設

住宅

年々増大する住宅需要に対応するため、町営住宅十二戸が建設されました。これで町内の公営住宅は、町営住宅七百七戸、道営住宅二百七十戸の合わせて九百七十七戸になりました。

▼公営住宅建設事業

老朽化した寿町の昭和二十九年建設の二十戸を解体し、同地に二棟十二戸(二種LDK)を建設しました。既に昨年十二月から入居が始まっています。



寿町に建設された町営住宅

▼公営住宅補修事業

道営、町営住宅の補修(畳表裏替え、給排水、建具など)や、四階

建て住宅の赤水対策として給水管の清掃などを実施しました。

配水本管敷設と 量水器取り替え

上水道

水道は町民の生活を支える重要な施設です。各家庭へきれいで豊かな水をお届けするため、配水管の敷設や家庭用水量器の取り替え工事などを行いました。

▼配水本管新設工事

札内北土地区画整理事業による道路整備に合わせて、配水本管七千七百八十二メートルを敷設しました。

▼家庭用水量器取り替え工事

家庭用水道使用量を確認する量水器・七百個を更新しました。

緑町に汚水幹線 216mを敷設

下水道

五十年年度からスタートした公共下水道事業は、五十九年五月から幕別市街の鉄北地域、十月からは鉄南地域の一部を対象として供用が開始されました。

本年度は、汚水幹線（二百六十六メートル）緑町（宝町、南町）の新設工事を行いました。これにより全体で一千五百五十五世帯が供用可能になり、このうち九百三十八世帯が既に水洗化工事を終えています。

札内地区については、十勝川流域関連公共下水道として五十九年度から着手しました。本年度は汚水幹線（一千四百一十メートル）春日町の新設工事を行いました。

継続事業の 葬斎場が完成

環境衛生

家庭などから出されるゴミの量は年々増え続けており、処理経費も増加しています。現在豊岡ゴミ埋め立て地は産業廃棄物しか受け入れていませんが、昨

年の五月から事業活動に伴って生じたすべての廃棄物は有料となりました。

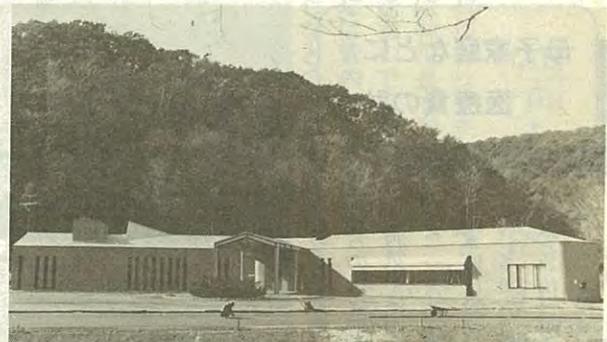
懸案事項だった葬斎場は豊岡に新築され、昨年十一月から供用開始になりました。

▼帯広市ほか七町村複合事務組合への負担金

ゴミやし尿は近隣市町村と共同で処理しています。本年度は、ゴミ処理に三千五百五十二千円、し尿処理に六千二百七十九千円の合わせて九千二百六十三万二千円（いずれも見込み額）の負担をします。

▼葬斎場建設事業

一昨年着工し、継続事業として昨年の十月に完成して十一月から供用開始をしています。約四百四十七平方メートルの建物で、ゆったりとしたロビーや十五畳の休憩室が三



昨年11月から供用開始した葬斎場

室あります。炉は最新式のもの、三基設置しています。

防犯・街路灯や 歩道を整備

交通防犯

昨年一年間六

十一月一月（十

二月）に町内で

発生した交通事故

故は四十九件で、

死者四人、傷者

八十人で、一昨

年と比べると発

生件数で十四件、

死者で二人、傷

者で二十三人減少しました。

根室本線踏切から曙通りまでの幕別本通りの両側に、三カ年計画で歩道を設置します。本年度は、平和通りから曙通りまでの二百六十メートルを整備しました。

福	康
社	の
と	充
健	実

老人健康増進 センターを建設

老人福祉

お年寄りに少しでも暮らしやすく心配のない生活を送っていただくとうと、いろいろなお手伝いをしています。また、お年寄りが持つ豊かな経験や知識を十分に発揮してもらい、自らの生きがいや充実させるための「高齢者就労センター」が開設されています。

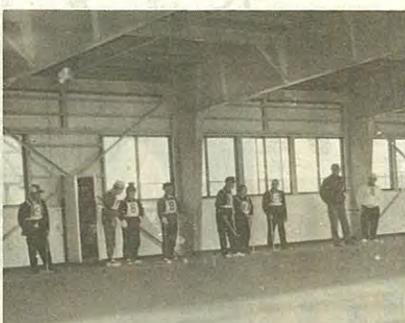
▼ゲートボール場の造成と整備

稲志別近隣センター横に一面造成しました。また、町内五カ所のゲートボール場に簡易トイレを設置しました。

▼老人健康増進センターの建設

札内地区と駒島地区に老人健康増進センター（室内ゲートボール

▼防犯・街路灯の設置
夜間における防犯、交通安全確保のため十九基を新設しました。また、白熱灯から水銀灯へ四十六基更新しました。



室内でゲートボールを楽しむお年寄り(札内)

も床面には全面に人工芝が張られています。

▼寝たきり老人家庭への見舞金

常時介護を要する六十歳以上のお年寄りがいる家庭に見舞金をお贈りしています。昨年度までは月

額三千円でしたが、本年度から月額五千円をお贈りしています。

▼老人クラブへの補助金

各単位老人クラブへ補助金を交付しています。昨年度までは、クラブ員一人当たり七百円の補助金でしたが、本年度から一人当たり千円になりました。

▼高齢者就労センター

お年寄りの生きがい対策の一環として、昭和五十九年四月に開設しました。お年寄りが自らの生きがいを充実させるとともに、地域社会に尽したいという人たち百三十人が登録会員となって組織しています。

就労センターは、引き受けた仕事を会員の能力や希望等にに応じて会員に提供し、仕事の内容と就労の実績に応じて報酬を支払っています。仕事を発注したいと考えておられる方は、左記へお問い合わせください。

※役場民生課内 高齢者就労センター ☎54-2111(内線11)

自立への道 通園・訓練費を助成

身障者福祉

心身の不自由な人が、明るく社会生活を送れるように、療育訓練補助、見舞金制度などによる経済的援助をしています。また、心身障害者相談による精神的援助とともに、早期療育対策を

進めています。

▼心身障害児通園・訓練費助成

心身の機能回復訓練のため、訓練施設(十勝愛育園、札内南小学校幼児ことばの教室、帯広児童療育センター)に通園、通学する児童に通園費を助成しています。

▼重度心身障害児家庭見舞金

十八歳未満で、心身の不自由な方がいる家庭に、月額三千五百円をお贈りしています。

▼心身障害児療育委託事業

帯広児童療育センターへの委託事業で、心身に障害のある幼児が保護者とともに通園しながら、日常生活における基本動作、集団生活への適応訓練を行っています。

札内北地区に 児童館を建設

児童福祉

子供の健全育成には、温かい家庭づくりと良い地域環境づくりが必要です。児童の人間形成は、幼児期においてその大半を方向づけてしまうほど大切な問題です。将来を担うお子さんが、健康で明るく育っていただくための環境づくりと援助をしています。

▼遺児援護金

不幸にして生計の中心者を失った義務教育終了前の遺児の方、また二十歳未満で障害を持った方に月額三千円をお贈りしています。

▼児童手当

昨年の六月一日から児童手当法が改正になりました。本年度は昨年十月現在で五百七十二人に給付しています。

▼児童館とコミュニティセンターの複合施設の建設

児童館とコミュニティセンターの複合施設を札内北地区に建設しました。面積は約八百平方メートルで、そのうち二百平方メートルが札内北児童館、六百平方メートルが札内北コミュニティセンターとなっています。

児童館には集会室、遊戯室、図書室があり、学童保育所の開設が予定されています。



札内北児童館とコミュニティセンター

母子家庭などに 医療費の助成

医療

ある日突然、私たちの生活を襲う病気がけが。たった一人の病人で家庭は暗くなり、多額の医療費の負担に家族みんなが精神的、経済的苦しみを背負い込まなければなりません。

健康のチェック 各種検診の実施

保健予防

健康で豊かな生活を送ることを願う、本年度も各種の保健事業を行いました。町民健康センターでは、「赤ちゃんクラブ」、「母親学級」などの活動や保健活動、疾病に対する予防指導などを積極的に行っていきます。また、第一回の健康まつりを、昨年の十一月に開催しました。

▼健康相談

保健婦が血圧、栄養、妊娠中の心配ごとについての相談を行っています。

▼町民健康センター 毎週月曜日から金曜日(九時半～十一時半)
▼札内福祉センター 毎週月・水・金曜日(九時半～十一時半) ▼棟内公民館 第三火曜日、駒島公民館・途別公民館 第三金曜日、古舞公民館 第三木曜日(いずれも午後

医療費の助成を受ける場合は、いずれも受給登録が必要ですので、町民課国保医療係(☎54-2111内線102)または、札内支所で手続きをしてください。



札内福祉センターでの健康相談

二時半～三時半) 乳幼児健診

生後三ヶ月、七ヶ月、一歳六ヶ月、二歳児の各種測定や尿検査、問診を行い、さらに三歳児健診では内科や歯科、総合的な健康診断を行っています。

▼結核検診

軽症の潜在患者や高齢者の結核罹患率は増加しています。検診は年一回必ず受けるように法律で義務づけられています。また、この検診に併せて成人病予防のための尿検査、血圧測定を行っています。

▼胃ガン・婦人科検診

ガンは自覚症状がないまま進行している場合が多く、発見が早いか遅いかによって、治療率が大きく変わります。胃ガンは三十五歳以上の方、婦人科(子宮けい部ガン)は三十歳以上の方を対象に行っています。

住民登録の電算化スタート

コンピュータを導入

端末機九台を設置

町役場のコンピュータ導入による総合行政情報システムが、仕事始めの一月六日にスタートしました。当日は林町長や利用者第一号の町民による稼働式が役場庁舎一階の住民係窓口で行われました。ホストコンピュータを導入しての事務処理は管内町村では二番目です。この日スタートしたのは住民票の発行などの住民記録業務で、四月からは各種税、国民年金なども取り入れていく計画です。

電算室の六カ所に計九台設置してあります。札内支所に住民票をとりよってきた場合、これまでは本庁からのファクシミリでの対応で待ち時間がありました。端末機を設置により迅速に対応できるようになりました。



役場の電算室

総合行政情報システムとは、行政事務のO A化(情報処理をオートメーション化すること)を推進するためにコンピュータを導入して、住民記録や証明書発行などの住民個々に関する情報や生活に関する情報、行政内部に関する情報などを有機的に結びつけ、事務の効率

化を図ろうとするものです。

幕別町では、昭和四十八年から町税四税(住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税)や職員給与計算、六十年からは国民年金などを外部委託方式で電算処理する一方、五十九年にO A化検討委員会を

一月六日の稼働式は、役場住民係窓口で置かれた端末機の前で林町長と住民票をとりよってきた吉田司法書士事務所員・米木まゆみさんがテープカットを行いました。林町長が端末機のスイッチを押すと即時にプリンターが始動し、米木

住所、氏名等の住民情報管理及び住民基本台帳に関する事務
 ● 選挙業務Ⅱ 選挙人名簿、投票所入場券に関する事務
 ● 国民年金業務Ⅱ 年金に関する情報の管理
 ● 国民健康保険業務Ⅱ 国保税の賦課、異動、更

新年度からは

町税なども電算処理

● 国民年金業務Ⅱ 年金に関する情報の管理
 ● 国民健康保険業務Ⅱ 国保税の賦課、異動、更

生処理事務

● 固定資産税業務Ⅱ 土地、家屋、償却資産に関する管理、賦課事務
 ● 住民税業務Ⅱ 住民税の賦課処理、各種統計資料の作成

● 上下水道業務Ⅱ 上下水道料金の計算、資料の作成
 このほか、軽自動車税、職員給与、収納なども四月から、また町営住宅、福祉、教育などの業務は

足させ、コンピュータ知識の習得や自己導入と外部委託の比較などを検討してきました。その結果、コンピュータ機器の高性能化、小型化、低価格化や自治体業務にすぐ使えるソフトの開発などの理由によりコンピュータの自己導入が決定しました。昨年八月には、電算準備係が設置され、職員二名が配置され電算化の準備を進めてきました。ホストコンピュータを役場電算室に設置し、端末機を町民課、民生課、税務課、水道課、札内支所、

さんが必要とした住民票が発行され、林町長から記念品と一緒に手渡されました。
 今回電算化されたのは、住民基本台帳に関する事務を処理する住民記録業務ですが、三月からは選挙業務、四月からは町税などの業務をコンピュータに移行していく計画です。電算処理する主な業務は次のとおりです。
 ● 住民記録業務Ⅱ 住民に関する

順次電算処理していく予定です。



システム稼働式で端末機のキーを押す林町長

236人が 決意を新たに旅立ち

62年幕別町成人式

「おめでとー二十歳(はたち)」。新成人としての門出を祝う「成人式」が一月十五日、町民会館で行われました。幕別町の今年の新成人は男百三人、女百三十一人の計二百三十四人。一月十日には約六十人が参加して前夜祭が行われ、ゲームやディスコを楽しみました。十五日の式典は、町歌の斉唱で始まり、キャンドルサービスで大人としての自覚を確認しました。



晴れ着に身を包み、チョッピリ緊張の面持ちで臨んだ式典



緊張の中にも思わず笑顔が…



ディスコも登場した前夜祭



交通安全宣言文を読み上げる新成人の代表



式典終了後、町民会館前で記念撮影



大人としての自覚を新たにしたキャンドルサービス

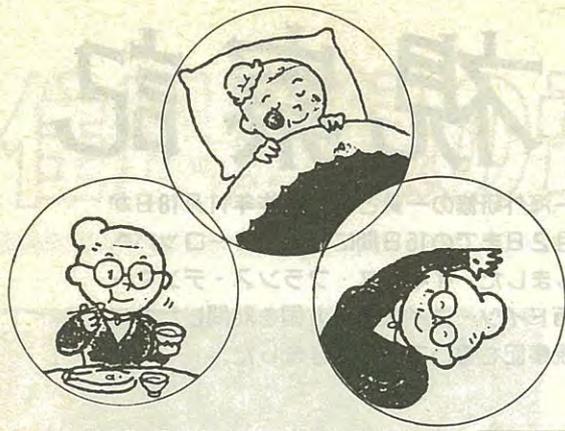


アトラクションには幕別混声合唱団(写真上とノーチエアミーゴ(写真下))が出演し見事な演奏を披露

利用して 健康手帳

—すこやかな老後を—

高齢化社会に備えて、お年寄りが健康で安心して暮らせるようにと、一貫した保健サービスを行うべく「老人保健法」がスタートして四年が過ぎました。この老人保健法の中で健康手帳の交付がうたわれています。健康手帳は、「自身の日常の健康管理に役立つ」ため、健康診断などの結果を記録するものです。さて、あなたは有効に利用していますか。



健康を記録する 健康手帳

「健康手帳」には、次のような内容が盛り込まれています。

- ① 健康診断の記録
 - ② 七十歳以上（六十五歳以上、七十歳未満で寝たきりの状態の人を含む）のお年寄りには「医療受給者証」および「医療の記録」
 - ③ 健康教育・相談などの記録
 - ④ 成人病の予防や健康な生活を送るための知識など
- このように健康手帳は、ご自身の健康と病気の状態を体系的にまとめて記録して、体の状態がすぐ

健康手帳の 交付は…

健康手帳が交付される人は、次のようになっています。

- ① 七十歳以上の人
- ② 六十五歳以上、七十歳未満の人で寝たきりなどの状態の人
- ③ ①、②の要件の人を除いた四十歳以上の人で、健康診断、健康相談などを受け、健康手帳の交付を希望する人

七十歳を迎えた人は、生まれた月の翌月から老人保健法の「老人医療費受給者」の資格を得ることになりますので、役場から通知があります。町民課または社内支所窓口で健康手帳と医療費受給者証の交付を受けてください。六十五歳以上、七十歳未満の人で、寝たきりの状態にある人は、あらかじめ申請をして、町長の認定

が必要ですので、町民課へご相談ください。

お医者さんにかかるときは

受診するときに、病院へ持っていくものは、次のものです。

- ① ご自身が加入している被健康保険者証
- ② 健康手帳
- ③ 老人医療費受給者証

特に健康手帳には、各種検診を受けた結果が記録されていれば、診察のときに非常に役立ちますので、忘れないようにしましょう。



老人医療で診察を受けたときの

一部負担金は、今年の一月一日に改正されて、外来の一月一日については八百円、入院は一日について四百円の一部負担金を病院へ支払っていただくことになっています。

ただし入院の場合、老齢福祉年金受給者で町民税非課税世帯には特別が認められています。手続きは本人の申請が必要となります。詳しいことは、町民課国保医療係へお尋ねください。

☎ 54-2111 内線102

日常生活での 健康チェック

お年寄りは病気の発見が遅れると、若い人よりも病気が早く進み、回復も遅れます。ふだんから、自分の健康度をチェックする習慣を身につけましょう。

- ① 体重を測ること
目安となる体重の簡単な求め方の方法としては、身長から百をひいた値を使う

と便利です。たとえば百六十五センチの人は六十五キログラムが目安となる体重になります。これより二十%以上少ないとやせすぎ、二十%以上多いと高度の肥満といえます。

- ② 体温を測ること
お年寄りの体温は平均して三十六〜三六・五度前後ですが、個人差がかなりあります。平常の体温の幅を自分で知っておきましょう。
- ③ 脈拍を測ること
脈拍数は年齢数とともに少なくなり、お年寄りでは普通一分間に五十〜七十の間です。
- ④ 大便の形状を観察すること
排便したつど色・形・消化度をチェックしてください。便に赤い血液がつくときは痔の出血や大腸の病気、また、便の色が黒っぽいときは、胃や十二指腸のかいようからの出血と考えられますので受診してください。

ヨーロッパ視察記

町教育委員会では、広く緒外国を視察し国際的視野を広め、地域づくりのリーダーとなることを期待して、柿崎俊男さん（41歳・新町・新田ベニヤ工業勤務）と松本純一さん（43歳・南町・幕別郵便局勤務）の二人を十勝生涯学習セ

ミナー海外研修の一員として、昨年11月18日から12月2日までの15日間にわたりヨーロッパへ派遣しました。イギリス・フランス・デンマーク・西ドイツ・スイスの5カ国を訪問したお二人に視察記を書いていただきました。

自立性と自主性あふれる ヨーロッパの子供たち

柿崎俊男

かつて森鷗外は、都市には二つのタイプがあると指摘した。「求心的な都市」と「遠心的な都市」。その区分けからいくとロンドンには遠心的な都市になるといえる。政治と宗教の中心地ウエストミンスターと経済の中心シティ。この二つが周囲を吸収しながら膨張してつなげたのが現在のロンドンだ。

一方、パリは「求心的な都市」になる。一つの広場を軸にして、放射線状に道が延び、その周りには計算しつくされたように同じ様式の華麗な建物が並ぶ。パリの街の大改造を行ったオスマン男爵はコンパス・定規で画いたような幾何学的なフランス庭園を造るつもりでパリを再構築したのではないだろうか。

この二つの都市がヨーロッパを代表する顔であり、それらを築いた歴史の大きさに驚嘆の声を叫ぶばかりであった。

十勝生涯学習セミナー海外研修の一員としてヨーロッパ五カ国を約二週間にわたり視察した感想である。

ヨーロッパの都市の拡大は歴史的背景が大きく、日本とは違い、多民族化している上で、自国の文化的遺産をどう守るかという事が実

にうまく行われているように思われた。これは大きな都市が、数多くの戦火の中でも守り通された事がヨーロッパ人の精神的な支えであり、プライドなのだ強い印象を受けた。中でも宗教的な支えは想像以上のものを感じた。

ヨーロッパ人は社交が実に上手である。それは多民族という社会的立地の要因もあるが、相手のプライドを傷つけないという唯一の観念があり、私たちに与っては最大のプレゼントであった。

特にロンドン郊外のホームステイ（民泊）先のモイアティ家の人々が、英語の達者な（？）我々を家族六人がエスコートしてくれた事に感謝すると共に、私たちの生活の中でもホームステイができるの

うまく行われているように思われた。これは大きな都市が、数多くの戦火の中でも守り通された事がヨーロッパ人の精神的な支えであり、プライドなのだ強い印象を受けた。中でも宗教的な支えは想像以上のものを感じた。

ヨーロッパ人は社交が実に上手である。それは多民族という社会的立地の要因もあるが、相手のプライドを傷つけないという唯一の観念があり、私たちに与っては最大のプレゼントであった。



ホームステイ先のモイアティ家の人々
(左端が私)

ではないかという関心を与えてくれた。また、ホームステイ先から大英博物館までの地下鉄乗車道中の行く先々で、迷う私たちを快く助けてくれたロンドンっ子や、ロンドン市内の公共学校を見学する我々に、物おじせずに対応する小学生を見るに、「ここが日本人と違う」と感じさせられました。

それは多民族化しているが故に人種間で差異があつても決して後にひかない（物おじしない）態度で感じたからなのです。

この二週間はヨーロッパの子供を見ようと必死でした。何といつても社会制度が違いすぎる事が大きく、行く先々で日本のそれと対比させ考える事で頭が一杯であり、その中でヨーロッパの子供を見た限りでは、日本の子供と外観では何も変わらないと感じたのですが中味が少々異なるのです。それは自立性と自主性なのです。

私たちの心の中には、どちらかというと家族中心主義的なものがある。考え方があり、ヨーロッパが主張している社会制度からすると一概に良い悪いとはいえないませんが、私たちに欠如しているといわれる自立性がヨーロッパの国々でいろいろな形で生かされている事に深

い感銘を受けました。

自主性においては、そうした自立性の基に主張を持ったボランティア活動のようすや施設を視察して、各々が独自の形態の中で個性的ともいえる特色を持つて行っている点は、私たちが大いに見直す必要があるように思いました。

この二つの心を兼ね備えたヨーロッパの心から生まれた時間的余裕の使い方は、日本的な忙し人間を反省させられ、「日本人よ、そんなに急いでどこへ行く」とまでいわれるように、もつと時間を大切にしたいと改めて考えさせられました。そうした時間の考え方、利用の仕方は社会制度にもよりますが、ヨーロッパの静的なところと日本の動的なところを比較する事がこれからの発想につながり、家庭生活においても新たな生活手段をつくるものと思います。

一般生活においても実に質素であり、その中にも重厚さを感じさせるものがあります。たしかに、私たちの周りは物質的に恵まれています。何か無駄が多いように思います。この無駄の排除がヨーロッパの心に近づける唯一の道かも知れません。わずかな時間でヨーロッパの一部しか見ることができませんでしたが、生き残りの絶対条件とは数値よりも人間を大切にすることだと感じさせられると共に、私たちの生活もそうであるべきだと痛感したセミナーでした。

福祉国家デンマーク

高い税金と進む核家族化

松本純一

十勝生涯学習セミナー海外研修

団の一員として幅広く諸外国を視察研修してきましたが、紙面の関係で特に印象に残ったデンマークを中心に述べてみたいと思います。

不安と緊張、そして期待を胸に飛行機は一路デンマークへ。首都コペンハーゲンに到着後、さっそく特別バスにより市内視察。まず目に入ったのが、大きなレンガ造りのヨーロップ風の建て物。ほとんどがアパートで、一戸建ての住宅は郊外でなければ見あたらないという。ヨーロップでは地震が少ないため、石造りが非常に発達し二、三百年も前に建造されたものが、今もなお住宅として立派に利用されていた。街路樹は広葉樹ではブナ、プラタナスが比較的多く、これらの管理も大変良く行き届いていた。緑と公園が沢山あり、自然を大切にされた街の光景が特に目についた。

アンデルセンの童話の主人公・人魚姫の像は、エドワルド・テリクセンの作で、港の人口に近い岩の上にひっそりと座っている。このコペンハーゲンのシンボルともいえる人魚姫の像は、時折打ち寄せた波にしっかりと濡れ、哀愁を含んだ表情をさらに深め、訪れ

る人の心をとらえて離さない。

信号機は低く路面に設置されているので非常に見やすく、道路沿いには電柱も見られない。また、汚い看板、広告、ゴミや空き缶の投げ捨てなども街のどこを見ても目にとまらない。現在の日本だとタバコの吸い殻などのゴミを投げ捨てるのが常識になっている昨今、大いに反省させられました。



スイスのピラスト山頂にて
(左端が私、右端に柿崎さん)

乗用車は自国で生産していないという事で、すべて輸入が中心。

特に日本製の車が大変多いのに驚いた。特に感心したことは、運転免許証は一度取得すると七十歳の誕生日まで有効で、更新手続きがいらないこと。合理的な制度なので、日本でも導入してみたいか

がですか？

ヨーロップの中でもデンマークは福祉最優先の国。老齢年金の場合、収入・財産にかかわらず六十歳からすべての人が受給できる。年金額は夫婦二人で一カ月十四万円。これは物価にスライドされる。また、年金受給者になると、希望者はだれでも老人ホームに入れる。老人ホームは全部個室になっていて、全室シャワー、トイレ付き。そのほかホームヘルパー制度の充実など数えきれないほど老人対策が確立している。身体障害者用のアパートも玄関から直接車イスのまま入れる。トイレやバスも車イスのまま使用できるように工夫されており、あらゆる面で身体障害者が利用しやすいように完備されているのに驚いた。これが本当に血のかよった温かい福祉対策ではないかと感じた。そのほかに医療費はすべて無料、年金制度の確立、大学を卒業するまでの教育費(学用品を含む)も無料。

しかし、税金が高いという、高福祉ゆえの弊害もある。一例を挙げると、一般サラリーマンで基礎控除されたあとに直接税で収入の五十%、品物を買った付加価値税(最高六十%)、宗教税(一%)とな

っている。

だいたいこの社会保障制度は収入のある人からどんどんむしり取って、収入の低い人に与える。収入の多い人は高級な家に住んだり、別荘、ヨットなどの財産は持っているが、生活の内容は収入の高い人も低い人もあまり変わらない。

税金が高いことに対して、国民に不満はないかと聞くと、「ある」という返事が返ってきた。特に若い人に多い。現在二十歳の人が六十七歳になった時、はたして今の社会保障制度が持続されているかどうか心配で、不満もあるが仕方がないという。年をとった人たちは何十年も自分たちのために苦労してきたのだから、社会保障で安楽に生活するのが当然だと思っ



イギリスの小学校の子供たちと

デンマークでは核家族制度を導

入しているのが、子供は十八歳になると親と住みたがらない。親のほうも、子供がいつまでも同居していると、「そろそろあなたも独立したら」と言うそう。国が親の面倒を見るといふことがあたり前になっている。高水準の社会保障制度が確立している故に、核家族化の進行に伴い同居率が低下している。その結果、物質的には恵まれている夫婦も、非常に寂しい生活をしている。

二十一世紀初頭に到来する超高齢化社会に対応するための日本独自の老人福祉対策を考えていく上で、デンマークの例は決して見過ごしてはならない重要な教訓を含んでいるのではないかと思います。高齢化をめぐるさまざまな問題が、いま老齢に達した人々よりも、むしろ若い世代に直接かかわってくるといふことを行政の中で十分浸透させ、ロマンと潤いのあるまちづくり、そして高齢化対策にすべての英知と力を結集すべきと考えます。

今回の研修は私にとって生涯忘れられない貴重な体験であり、遠く故国を離れて日本の良さをしみじみと考えることができたことは大きな収穫でした。

このすばらしい研修の機会を与えていただいた関係機関の方々に心から感謝すると共に、郷土の発展のために微力ながら努力してまいります。

町消防団の永年勤続者を表彰

町消防団恒例の出初め式が、一月七日に第一分団(幕別)、八日に第二分団(札内)、九日に第三分団(榊内)の日程で行われ、次の方が永年勤続などで表彰されました。

(敬称略)

■道知事表彰

▽永年勤続章(二十年) 宗内信一(副団長)、斉藤栄一(第一分団長)、村田三男(第三分団長)、武藤利貞(同)

▽永年勤続章(二十年) 渋谷清一(第二分団部長)、新田勝治(第三分団部長)、関谷勝彦(第一分団班長)、長崎重雄(第三分団班長)、高島靖博(同)、永井晴男(同)、山口吉

雄(同団員)、石井照一郎(同)

▽永年勤続章(十年) 品田竹夫(第二分団員)、藤木修一(第二分団員)、長崎進(第三分団員)

■道消防協会表彰

▽功績章 斉藤栄一

▽勤続三十年 宗内信一、山中謙治、村田三男、武藤利貞

▽勤続二十年 渋谷清一、村田義雄(第三分団班長)、長崎幹夫(同団員)

▽勤続十年 藤木修一

■道消防協会十勝支部表彰

▽勤続三十五年 藤平薫(第三分団員)

▽勤続二十五年 橋本雅弘(第

三分団副分団長)

▽勤続十五年 早津邦男(第一分団班長)、有沢章(同)、小野光義(第一分団員)、阿部勝利(同)、斉藤正憲(同)、吉田賢治(同)、大上光一(同)、津村章広(同)、西岡幸康(第二分団員)、森脇伴吉(第三分団員)、松岡明(同)、鎌田明(同)

▽勤続五年 松本敏(第一分団員)、高嶋甲爾(第三分団員)、今江孝裕(同)、園部幸広(同)

■東十勝消防事務組合表彰

▽勤続三十年 宗内信一、山中謙治、村田三男、斉藤利貞

▽勤続二十年 渋谷清一、村田義雄、長崎幹夫

▽勤続十年 藤木修一

▽勤続五年 松本敏、高嶋甲爾、今江孝裕、園部幸広

▽精勤五百回 藤平景夫(副団長)、杉野国男(第一分団副団長)、末永武(第二分団部長)、川向敏男(第一分団班長)、永井晴男

▽精勤三百回 橋本雅弘、金沢佳樹(第一分団員)、西岡幸康、森脇伴吉

▽精勤百五十回 万代善己(第一分団員)、渡辺具視(同)、阿蘇義治(第二分団員)、横田留雄(同)、加納清一(同)、高嶋甲爾、今江孝裕

▽無火災表彰 第三分団

▽退職表彰 佐々木忠雄(元第二分団部長)、前谷重夫(元第二分団員)

■消防長官表彰

▽永年勤続章 佐々木忠雄、前谷重夫



かわばた
河端るみさ
駒島514
駒島小学校 ▲
児童全員が
健康な一年を

昭和58年4月から駒島小学校の養護教諭をしています。学校を卒業して最初の赴任地ですので四年間無我夢中でした。駒島は寒いところですが、地域の人たちはみんな温かい人たちばかりですね。

体を動かすことが好きで夏はテニス、冬はスキーを楽しんでいます。今年も児童32人全員が健康な1年であってほしいと願っています。

こんにちは ⑳

ふるさとへの便り... ㉑

おもりともこさ
大森智子 さん
(54歳)

(千葉県柏市)



開基百年に向け

ますますの発展を

幕別町の皆様お元気で
すか。私は幕別町を離れ
て三十一年になります。

空襲、十勝沖地震、千代
田えん堤のアキアジ祭り、そ
れに雪景色等が思い出に残っ
ています。以前帰郷のさい、幕
別温泉の湯につかりながら高
校時代の友人たちと語り合
いました。町営のあんなすばら
しい施設があることをうらや
ましく思います。東京幕別会
では、懐かしい方々と一緒に「パ
ークゴルフ」や「つながったデ
ー」の様子をスライドで拝見
しました。開基百年に向けて、
町がますます発展されますよ
う、お祈りしています。

(旧姓勝山さん。勝山医院院長
勝山繁さんの姉)

まくべつタイムトンネル あ場所 この場所 今昔



昭和41年ごろの国道38号線20号付近の旧国道との交差点



現在の同地。交通量の増大に伴い外食店舗が立ち並ぶようになりました。

今回は国道三十八号線の
二十号付近の変遷を紹介し
ます。

⑩



町営明野ヶ丘スキー場が1月11日にオープンしました。今年は降雪に恵まれ、ゲレンデは絶好のコンディション。この日はリフトも無料とあって大勢のスキーヤーが初滑りを楽しみました。16日からはスキー学校も開校しました。

町営スキー場がオープン

町将棋連盟(西村清吉会長)主催の第三回全町ちびっこ将棋大会が一月十三日、札内福祉センターで開かれました。全町から百二十人の小・中学生が参加し、中には三十分近く長考する光景もみられ、いずれも真剣な表情で対局に臨んでいました。



120人が真剣な表情で対局



ポスターが道知事賞入選



道主催の六十一年度林野火災予防児童作品コンクールで、札内南小学校六年の森本奈奈さん(札内若草町)製作のポスターが十勝からだ一点、道知事賞入選を果しました。同コンクールには十勝管内から六百二十八点の応募がありました。

1月25日、「ささやかコンサート」が本町のパブレストラン「シュトラセ」で開かれました。ギタリスト田中光俊さん(新北町)の演奏する名曲の調べに店内いっばいに集まったクラシックファンは時を忘れて聞きいっていました。

クラシックファンが集う



今年も途別川に飛来 町の鳥オオハクチョウ

昨年、町の鳥に指定されたオオハクチョウの一群が今年も途別川(千住橋付近)に飛来し、現在約百三十羽が翼を休めています。飛来地が国道に道いこともあって、週末にはエサを所持した家族連れなど大勢の人がマイカーで立ち寄り、にぎわっています。



町民みんなの関心事 良い子を育てるために

町児童生徒健全育成推進委員会

11

高校生の自立と自覚

子どもは成長すれば次第に親から離れて、自立していくものです。高校生ともなれば、親の思うようには、なかなかならないものです。と言っても放任というわけにもいかず、このあたりから親の悩みが聞こえてくるようになります。

高校生の年齢にまで成長した彼らは、間もなく社会の一員と

して大人の仲間入りをしなければなりません。まず、その事を自覚させ、社会人として行動できるマナーを教えるのが、親の務めではないでしょうか。公私をわきまえた礼儀正しい言動、清潔な頭髮や服装、時間を大切に作る習慣など、社会で必要な事柄を教えるのは親の務めです。

自己の日常生活を基盤に、自信を持って社会生活のマナーをわが子に教えてやれる親になりたいものです。

第五回まくべし冬まつり

二月十五日に開催

冬こそ北国の特権です。まくべし冬まつりも今年で四回目を迎え、冬のイベントとしてすっかり定着してきました。

今年は二月十五日に、幕別運動公園で開催されます。当日は午前十時に開会式が行われ、午後三時までの間に多彩な催しが計画されています。

観客の笑いをさそいそうなのが、スポーツ大賞。チーム対抗で氷上むかで競争や人間カーリング、ミニスキー純ジャンプなどを競います。優勝チームには今年も豪華な賞品が用意されています。このほかカラオケ大会や雪像コンクール味覚コーナーなども計画されています。詳しいことは、役場開発商



昨年の冬まつり

工課 ☎54-2111 内線234
までお問い合わせください。

ひと

23

幅広く、息の長い活動を

の会の友のカメラ別幕
に就任した初代会長
逸 栄
田 吉
(錦町・69歳)

昨年暮れにカメラ、ビデオ、8ミリの愛好家を一堂に集めて「幕別カメラ友の会」が発足しました。その初代会長に就任したのが吉田栄逸さんです。

「良い写真、良い映像を撮りたい」というのは愛好家の願いです。同じ趣味を持つ人が集い、お互いに楽しもうという事で、十五人の会員でこの会が発足しました。現在、会員を募集中ですので興味のある人はどんどん応募してほしいですね。

会の活動としては、カメラ部門ではだれでも参加で

きる公募展、ビデオ・8ミリ部門では後世に残るような幕別の歴史、記録映画づくりなど幅広く、息の長いものにしてほしいと思っています」

「カメラに興味を持ち始めたのは小学生のころで、満州にいた軍隊時代もカメラを離しませんでした。昭和四十四年から8ミリに凝りだしました。幕別小学校の八十年の歩みをつづつた「星霜」など、自分で撮影し編集したものが百本近くあります。いろいろな機会をおしとたくさんの人に観ていただきたいと思っています」

大正六年、幕別に生まれる。吉田時計電器店社長。帯広小型映画友の会会長。奥さんと二人暮らし。

功労者五人を表彰

町体育連盟

町体育連盟 木村正夫会長の新年会及び功労者表彰式が一月十六日、町民会館で行われ、次の五人の方が功労賞を受賞しました。

- ▽山角芳信(六八) 剣道、あかしや町
- ▽藤家博明(三三) 陸上スケート、緑町
- ▽斎藤初(故人)
- ▽アーチエリ、宝町
- ▽駒井三郎(四七) 卓球、青葉町
- ▽坂本龍也(四七) 水泳、文京町

二月十二日付で 人事異動

幕別町辞令

総務部

- ▽企画調整課企画調査担当副主幹 小野成義(都市計画課計画係長)
- ▽税務課住民税係長 梅田普通(町民課環境衛生係長)
- ▽町民課環境衛生係長 前川満博(幕別豊頃学校給食組合総務係長兼業務係長)

建設部

- ▽都市計画課計画係長 本保武(税務課住民税係長)

幕別豊頃学校給食組合辞令

- ▽幕別豊頃学校給食組合総務係長 兼業務係長 堂前芳昭(水道課業務係)

▽幕別ロータリー会(吉田栄逸会長) から十万円

▽幕別ライオンズクラブ(金沢誠会長) から十勝愛育園へ三万円

社会福祉協議会へ

- ▽大西武男(新和) から三万円
- ▽辺見トモエ(美川) から四千七百円
- ▽町歌謡連(橋本喜作会長) から二十七万一千三百四十三円
- ▽川尻香(宝町) から二十万円
- ▽遠藤初恵(軍岡) から十五万円
- ▽野呂栄吉(糠内) から二十万円
- ▽佐藤貞雄(中里) から五万円

老人クラブへ

- ▽高橋数雄(明野) から明野新川長寿会へ一万円
- ▽大西武男(新和) から新和長寿会へ五万円
- ▽川尻香(宝町) から宝町宝寿クラブへ五万円
- ▽伏屋隆徳(相川) から相川南老友会へ一万円
- ▽棚橋昭二(相川) から中央老人クラブへ五万円
- ▽同ゲートボール部へ二万円
- ▽相川西楽寿会へ二万円
- ▽糠内老友会へ砂田としさん(寿町) から二万円
- ▽高橋延次郎(南勢) から五万円
- ▽矢竹シギ(中里) から二万円
- ▽岩井タカ(中里) から五万円
- ▽野呂永吉(糠内) から一万円

(十二月十七日～一月十七日分)

「ご寄付ありがとうございました」

町へ

- ▽森清吾(千住) から十万円

※訂正—先月号の表紙で土井博詞さんの住所が大豊となっていました。これは明野の誤りでした。おわびして訂正します。